

知性・情操・健康・友愛の調和のとれた発達を目指す
さらなる高みを目指して

田辺中だより

No.10 令和6年1月31日発行

京田辺市立田辺中学校

京田辺市興戸北鉾立21番地

TEL:0774-62-0021 FAX:0774-62-5099

学校ホームページURL【<http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/tanabe-jh/htdocs/>】

言葉を紡ぐ 想いを紡ぐ



教頭 磯貝 美智子

梅の蕾がほころび始める時期になりました。「1月は行く2月は逃げる3月は去る」という言葉の通り、3学期はどんどん過ぎ去っていきます。個人的にも1年が過ぎていくのが本当に「あっ」という間に感じます。

昨年の学校だより2月号にも巻頭で「予測不能な社会を生き抜くために」と題して近年の異常気象、情報化社会など生活環境が目まぐるしく変化し続ける中、「どう未来を生きていくのか」、また学校教育で「様々な問題を解決できる能力や、それに向けての強い意思、しなやかな心を持った人材をどう育てていくのか」ということをお伝えしました。この1年の間にも様々な社会の変化がありました。年明けには能登半島での大きな地震に、予測できない天災の恐ろしさを思い知らされたところです。このたびの災害により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

このような激動の中を生きる子どもたちにどんなことを身につければよいか、何を大切にしてもらいたいかを最近すぐく考えます。私は国語科ということもあり、やはり「言葉」を身につけ、大切にしてもらいたいと思います。たかが言葉、されど言葉です。インターネットが普及し、AI化が進み、たくさんの情報と便利なツールがあふれている世の中です。生徒たちの方が情報機器やアプリ等の取り扱いが上手なこともあります。自分がこんなことを伝えたい、という項目を入力すれば勝手にそれらしい文章を作ってくれる機能さえあります。

皆さんは「言葉」を使えていますか。言葉は、自分と他者とをつなぐ媒体ですが、ただ「日本語が話せる」だけでは意味がないのではないのでしょうか。使われている「言葉」、そこには思いがあります。細かい言葉のニュアンスに、込められた意味があります。それらを学んでいくのが、教科等の教材だったり、行事等での経験だったりするのではないかと思います。

「言葉」は「言霊」とも言われてきました。相手を思い、言葉を選ぶことで、自分の思いが伝えられる。またその逆もしかりで、言葉を学ぶことで相手の思いがきちんと受け止められる。互いの想いを丁寧につなげられる人になってほしいと願いながら、教育活動を進めていかなければならないと思っています。

今後の予定

2月5日(月)	一斉委員会 PTA 選挙管理委員会(開票)
2月10日(金)～12日(月)	京阪神私立高校入試
2月13日(火)～21日(水)	テスト期間部活動停止
2月15日(木)～16日(金)	公立高校前期選抜
2月20日(火)～21日(水)	学年末テスト
3月7日(木)	公立高校中期選抜・1年生CRTテスト
3月14日(木)	第77回卒業証書授与式
3月22日(金)	修了式

福祉体験学習 (SELF)

2年生
車椅子体験学習

1月 22 (月)・23 日 (火) に2年生で車椅子スポーツ体験を通して、肢体における「障がい」について理解を深めるとともに、共生社会について考える機会として福祉体験学習を行いました。

「Wheelchair Football Japan—日本車いすアメリカンフットボール協会 代表理事 糸賀 氏にお越しいただき、体験とお話を聞かせていただきました。



第40回綴喜青少年の主張大会

人間性豊かな人格が形成される上で大切な時期である青少年が、日常生活や学校生活などで感じていること、あるいは大人たちや社会に向けて訴えたいことを発表する機会という趣旨で「令和5年度 綴喜青少年の主張大会」が1月27日(土)、八幡市文化センターにおいて開催されました。

本校1年生を代表して、中島友利さんが「人の優しさ」と題して主張しました。中島さんは「私たちが生活する社会や学校が優しさで溢れたら、誰もが過ごしやすくなるのではないかと投げかけ、SELF(総合の学習の時間)で学んだ「アサーティブに伝える」という具体的な表現方法を挙げながら、「自分自身のケアと他者への思いやりをバランスよく持ち、人に優しく、その場を明るくできるような存在になりたい」と力強く主張しました。



田辺中生頑張っています！！

第10回 京都山城墨友会

京田辺市議会議長賞	田辺中1年	子池	白羽
京都新聞賞	田辺中2年	北村	虹太朗

第66回 JA共済京都府小・中学生書道コンクール

金賞	田辺中1年	中井	健太
KBS京都賞	田辺中2年	北村	虹太朗
銀賞	田辺中2年	久保	芙美香

第69回 青少年読書感想文京都府中学校コンクール

優秀賞	田辺中1年	吉田	奈々美
	田辺中2年	高田	杏樹
	田辺中3年	甲木	瑛真

授業にお邪魔しました

英語科 なかうえ ひとみ 中植 瞳 先生

1月15日（月）6校時 1年7・8組の英語の授業にお邪魔しました。1年生の後半の授業になると、理解する文法項目も増えてきていました。動詞の過去形の中でも不規則動詞をリズムよく練習するところから始まりました。本時の Goal は、「過去形のルールを理解して自分で説明できるようになるう」でした。生徒たちは何度も何度も言いながら、しっかりと発音できるように練習していました。また同じ意味合いでも使う動詞が異なるなど、「他にもある？」「こっちの表現でもいいね」と先生が伝えながら、どんな表現ができるのかを生徒たちは考えていました。授業はほとんど英語で進められていました。昔と違うなあ・・・と感心しながらお邪魔していました。

中植先生は、今年度田辺中学校に赴任され、1年生の担任をしています。温かい雰囲気の中に、はっきりと伝わる話し方の先生です。国際文化部の顧問として、日常的にもご自身の英語力を活用しています。



英語科 わきさか ようこ 脇阪 陽子 先生

1月16日（火）5校時 1年1・2組の英語の授業にお邪魔しました。このクラスも英語であふれている授業でした。日本語は本当のところどころで、生徒たちは個人で発音したり、ペアで聞き合ったり、全体でリピートしたりなど、様々な形態で英語が口から出るように設定されていました。今日の Goal は「過去形の疑問文を使って表現しよう」ということで、過去形の作り方を確認していました。まずは既習事項の一般動詞の疑問形の作り方を復習してから、過去形の疑問文の作り方を確認していました。いくつかの疑問文を用意して、それぞれに聞いて回るといった実践を行いました。

脇阪先生は、1年生の担任もしながら、第1学年の副主任という形で全体を見えています。また女子バレー部顧問として、技術指導に奮闘しています。



英語科 にしむら みほ 西村 美穂 先生

1月17日（水）2校時 1年7・8組の英語の授業にお邪魔しました。冬休み明けのテスト返しもありましたが、このクラスも時間の中でたくさんの英語が口から出されるように設定されていました。リピートさせて単語チェックをしたり、ペアで質問し合ったりしていました。今回の Goal は「冬休みにしたいことについて聞き取ろう」でした。聞きながら、問に答える中で、聞いたことが本当かどうかを確認し、問以外の情報のメモがとれるかどうかの +a（アルファ）の聞き取りも行っていました。

西村先生は、教育相談部長として、学校全体の教育相談に関わる支援を中心になって行っています。どの生徒も安心して学校で生活できるか、どんな支援をしていくといいのかなど、常に考えてくれています。

部活は吹奏楽部です。田辺カーニバルでの「先生特別合唱」では、ピアノ伴奏に立候補してくれるほど、ピアノの腕前もあります。



英語科 いしばし かほ 石橋 香帆 先生

1月18日(木)3校時3年5組の英語の授業にお邪魔しました。3年生は少人数ではなく単級で授業が行われていました。この日はALTのクリア先生も一緒に授業をしていたので、3年生のクラスも英語であふれていました。今日のGoalでは、「願望や願いを伝えよう」というもので、仮定法を使って表現する方法を学びました。クリア先生と石橋先生のやりとりを聞きながら、本題に入って行きました。石橋先生はやりとりの中で、「私は一日30時間あったらいいのになあ」と話していました。忙しいと本当にそう感じてしまいますね。



石橋先生は昨年田辺中学校に赴任されて今年で2年目。いつもリュックサックに教材や水筒を入れて、背負いながら階段を二段飛ばして軽快に上がっていくパワフルな先生です。授業の中でも、朗らかな笑顔で、生徒の英語で話そうとする気持ちを引き出しています。女子テニス部の顧問として、生徒と一緒に打ち込んでレベルアップを図っています。



英語科 よこい しゅうへい 横井 秀平 先生

1月29日(月)4校時3年2組の英語の授業にお邪魔しました。今週から私学入試が始まることもあって、授業最初には、入試対策練習問題「長文読解」に取り組んでいました。まずは一人で解く、時間が来たら、ペアで解答や解き方を確認、最後は全体で答え合わせ&解説を行っていました。答え合わせでは、問の考え方、捉え方などの長文読解をどう解くかのポイントを伝えていました。



本時のGoalは、「世界の現状を知る」ということで、「世界がもし100人の村だったら」を元にした英文を読み、どんな割合になっているか、それを受けてどう考えるか、を捉える授業でした。3年生になると使われる英単語も内容自体も難しくなりますね。

横井先生は、田辺中学校には10年ほどいる田辺をよく知る先生です。剣道部の顧問として道着を身につけ、稽古をしている姿がよく見られます。



学校評価アンケートもあります。貴重なご意見ありがとうございました。

保護者の方には、行事のこと、登下校のこと、授業に関すること、生活面に関すること、部活動に関する事など、様々な角度からのご意見・ご要望をお聞きすることができました。すぐに改善すべき点は教職員で共有し、改善に努めます。

学校行事、日々の様子については、学校HP等でお知らせするようにしています。そちらもまたご覧ください。今後も田辺中学校の教育活動にご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。



お知らせ

- ① 2月から最終下校は17時00分です。
- ② 朝の遅刻・欠席連絡をさくら連絡網で行っております。Formsによる連絡は行っておりませんのでご了承ください。従来通り電話での連絡も可能です。
- ③ 留守番電話の設定が
平日(月火木金曜日)18時 (水曜日、午前中みの授業の日)17時となります。
市内3中学校同一の対応とさせていただきます。よろしくお願いいたします。